

南山大学 図書館 報

NO. 2 1989・4・1

ま ず 一 冊 を

図書館長 山本和義

南山大学図書館は、新入生諸君をこころから歓迎する。キャンパスの緑がみなさんの運んできたさわやかな風に吹かれて萌えようとしている今、私たちもこころの昂りを覚えている。そして南山での大学生活を通じて自らをさらに高めようと期している諸君のために、誠実に尽くしていこうと決意している。

大学図書館には、大学における研究と教育に役立つべく、人類がその長きにわたる営みを通じて蓄積してきた知的遺産が精選されて収蔵されている。本学の図書館にも47万冊を超える書籍と約1万タイトルの雑誌類が収蔵されていて、諸君の利用を待っている。また大学図書館は、自らの館が収蔵する書籍（情報）を利用者に提供するだけではない。利用者のリクエストに応じるためには、他の大学図書館・公共図書館とのネットワークによって、相互貸借の制度を利用し、あるいはコピーを依頼するなどの手だてによって、本学の図書館に収められない情報をも入手すべく努めるのであって、その範囲は海外にも及んでいる。図書館は単に収蔵を目的として設けられた施設ではなく、利用者の学習・研究に適切な情報を提供すべく機能することで、はじめてその使命を果たすことになる。私たちは諸君の積極的な利用を強く願っている。

本学の図書館は、昭和55年の大規模な増改築を機に、それ以前の全面開架のかた

ちから開架・閉架制に移行して今日に及んでいる。従って諸君が直接書架から選ぶ書籍は、収蔵する書物の約25%であり、その他の書籍はカード目録・オンライン目録（“GEMMA”の愛称で親しまれつつあるコンピューターによる検索システム）によって検索して貸出し手続きをしなければなりません。昭和60年度以降の収蔵書はオンライン目録によって、昭和59年度以前の収蔵書（ただし利用度の高い書籍はデータベースに入っていてオンライン目録でも検索可能）はカード目録によって検索するという二つの検索方法が行なわれていて、利用者にご不便をおかけしているが、大学図書館が脱皮する過程の避けがたい困難として耐えてくださるようお願いする。現在、図書館は力を傾けてデータベース化に努めており、不便は日ごとに解消してゆくはずである。

図書館では、さまざまなかたちで、図書館利用に習熟していただくための機会を設けている。なかでもオンライン目録による検索に習熟していただくための「GEMMA講習会」は、ぜひとも参加していただきたく、意欲的に取り組んでいるプロジェクトである。諸君が積極的に参加して下さるよう切望する。

まず一冊、南山大学図書館の蔵書を手にするので、ほんとうの大学生活が始まる。

新しい時代の幕開けと時を同じくして、南山大学図書館の貸出・返却等の閲覧業務がコンピュータ化されました。そこで・・・

あるユーザー・カードの一日

僕の持ち主は、この4月で3年生。学生生活も十二分にエンジョイしているらしい。胸ポケットの中にも仲間との笑い声が届いている。でも時々卒論をどのように取り組むかが頭に浮かび悩むこともあるらしい。図書館を活用すれば百人力とはいかないまでも、五十人力はあるのにな。

そんな彼が、久しぶりに図書館に足を向けた。珍しいこともあるものだ、と感心していたら季節はずれの北風がメインストリートを駆け抜けた。

お目当ては、新しい貸出システムらしい。

エントランスを進み（・・・そういえばこのゲートもフリーゲートになったんだ・・・）閲覧、参考カウンターの横を通り過ぎ利用者用端末の前にすわる。

友達と話をしていたところによると、このオンライン検索システム（GEMMA）は昨年5月から稼働しているらしい。まだ、端末操作の手つきはたどたどしいが、それでも面白がって検索している。思い切って受けた“GEMMA講習会”以来この端末の前に座ることが多くなったみたいだ。

読みたい数冊を検索した彼は、端末から出納票を打ち出した。

カウンターに差し出し、書庫から出納してもらおうと、「貸してください」

とでかい声で言った。胸ポケットから差し出された僕に、電気カミソリみたいなもので光が当てられ、一瞬のうちに貸出処理がされた。

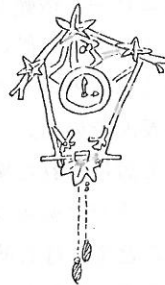
あいにく読みたい本のもう一冊は貸出中だったので、予約した。そのときも僕の出番。連絡方法などを受付票に書いて予約は終わり。あとは本が返却されれば、連絡がくるという段取りだそう。

僕も活躍の場が広がった。

出掛ける時は、忘れずに。——
ほんとだね。

— — —

*図書館発行のユーザー・カードは3年生と4年生が持っています。1年生と2年生は学生証がそのままユーザー・カードにもなります。



※ 図書館利用のための簡単なガイド ※

I. 開館時間

- ・ 平日 9:00~18:30 ・ 土曜日 9:00~15:30
- <休講期間中は 16:30まで> <休講期間中は 12:00まで>

II. 休館日

- ・ 日曜日、国民の祝日 ・ 入学試験期間 ・ その他大学の定めた事務休日

III. 所蔵資料とその利用法

A. 図書 (和書・洋書合わせて約46万冊)

- 1) 開架図書: 学習用の図書は、2階と地下1階の開架閲覧室にあり、直接手に取って見ることができます。

※ 参考図書: 辞典・事典・図鑑・地図・便覧・年鑑・白書・文献目録(書誌)・索引・コンコーダンスなどのいわゆる調べるための本で、1階で直接利用できます。

※ 指定図書: 教員が各授業の受講生のために特に読むように指定した本で、これも1階で直接利用できます。

- 2) 閉架図書: 研究用の図書は、書庫にあり、直接行って見ることはできません。閲覧カウンターに出納票を提出して、館内閲覧あるいは館外貸出の手続きをすることになります。(但し、3年次生からは入庫もできます)

B. 雑誌 (和洋合わせて約1万タイトル)

- ・ 一般雑誌、学術雑誌、各大学・研究所紀要など。

新着のものは1階の雑誌コーナーで直接見ることができますが、バックナンバーは合冊製本後書庫に収納されますので、閲覧カウンターに請求して下さい。

C. 新聞

- ・ その日、その週の新聞は1階ブラウジングコーナーで見ることができます。

古いものについては縮刷版を利用して下さい。主な日刊紙の縮刷版は1階の閲覧室にありますが、その他のものについては書庫にありますので、閲覧カウンターに請求して下さい。

D. 非図書資料

1) マイクロ資料

- ・ 新聞や雑誌のバックナンバーなど各種資料のマイクロ・フィルム、マイクロ・フィッシュがあります。館内備え付けのマイクロ・リーダー(プリンター)を使用して見ることができます。利用はカウンターに申し出て下さい。

2) 視聴覚資料

- ・ ヴィデオテープ、スライド、録音テープ、レコードなど。

量的には僅かですが、館外貸出もできます。

また、本学には、図書館とは別に視聴覚センターがありますので、そちらの利用もお勧めします。



IV. 資料の探し方

A. カード目録

・書名、著者名、分類番号(図書の内容を主題別に分けて番号化したもの)の3種類の目録が、カードファイルによってつくられており、求める資料の有無及び所在を検索することができます。

但し、このカード目録の収録期間は1984年度迄ですので、それ以降の資料については下記オン・ライン目録を利用して下さい。

逐次刊行物(雑誌類)の目録もあります。

B. オン・ライン目録(愛称“GEMMA”)

・コンピュータの端末を使って、求める資料を書名、著者名、語句などから検索することができます。1985年度以後に受入れた資料についてはすべて検索可能ですが、それ以前のものについては目下データを入力中ですので、しばらくはカード目録を利用して下さい。

V. 貸出冊数と期間

・一般貸出：一人5冊まで2週間

・指定図書：一人2冊まで1週間


※夏季・春季休暇長期貸出、卒業論文用貸出もあります。

VI. 館内閲覧

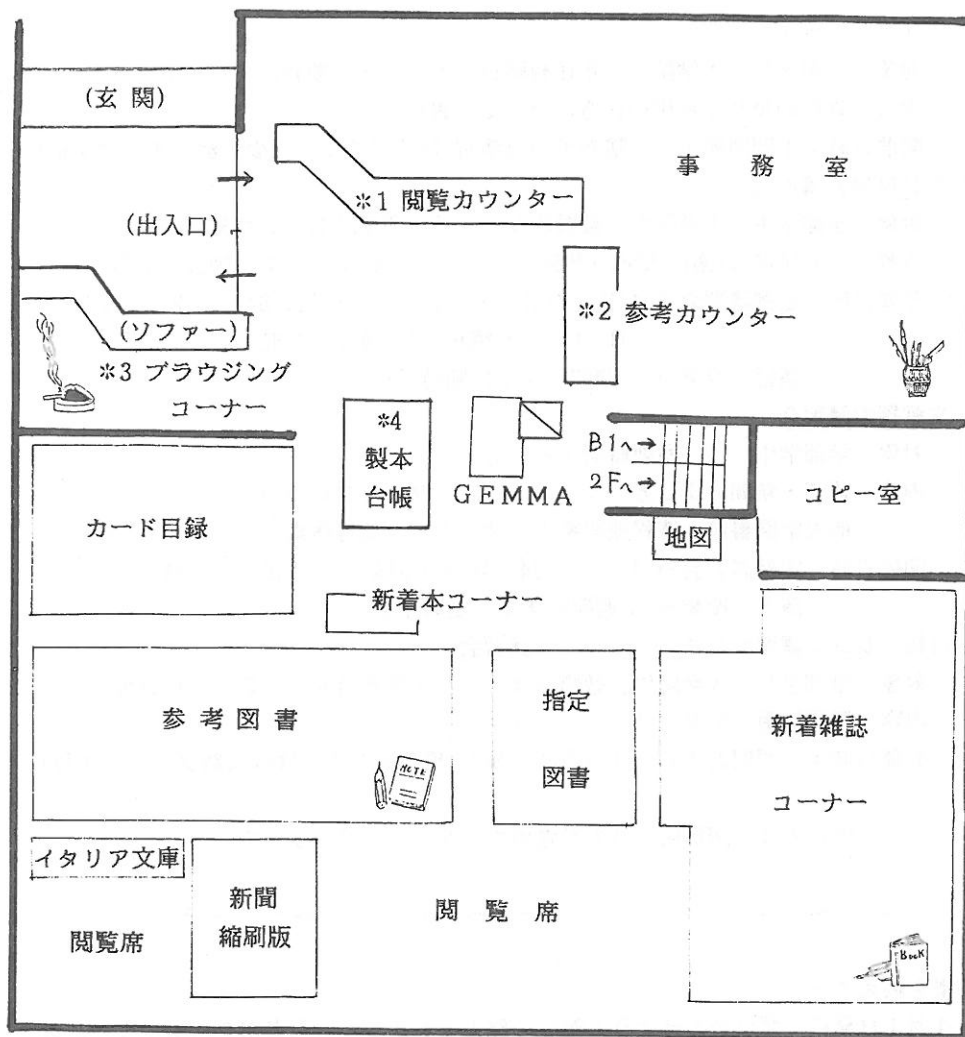
・下記の資料は館外貸出はできませんので、館内での利用に限られます。

- 1) 参考図書
- 2) 雑誌、新聞(縮刷版も含む)
- 3) マイクロ資料

VII. 各階案内

2階	開架閲覧室 [社会科学・自然科学・医学・工学・技術・産業関係の図書。 法判例集(和書)。	事務室
1階	メインフロアー [閲覧カウンター、参考カウンター、カード目録、オン・ライン目録 参考図書、指定図書、雑誌、新聞など。 <次ページを見て下さい>	
B1階	開架閲覧室 [総記・哲学・宗教・歴史・芸術・ スポーツ・語学・文学関係の図書。	
B2階	書庫 (一般学生は入れません)	

※ 1階 (メインフロアー) ※



※1 閲覧カウンター — 図書館のメインカウンターです。
ここで、資料の出納及び貸出・返却の手続きをします。

※2 参考カウンター — 資料の探し方や使い方、外部データベースによる検索、当館にない資料の入手についての相談及び受付の窓口です。

※3 ブラウジングコーナー — ここで最新の新聞が見れます。
また、館内唯一の喫煙所でもあります。

※4 製本台帳 — これによって、雑誌の製本状況がわかります。製本済みのものは書庫に、未製本の場合は新着雑誌コーナーにあります。

＝図書館をうまく活用するために＝
※ 図書館利用講習会の案内 ※

1) ライブラリー・ツアー

対象：学部学生、大学院生、新任教職員など ・所要時間：45分
内容：資料の種類と利用の仕方について、書庫内見学
開催日時：1週間前までに随時予約（演習・授業単位または少人数グループ単位）

2) GEMMA講習会

対象：学部学生、大学院生、教職員など ・所要時間：90分
内容：GEMMA（南山大学図書館オンライン目録）についての理論と実習
開催日時：定例講習会→ 4/12, 4/19, 5/10, 5/17, 5/31, 6/7, 6/21, 6/28
（いずれも水曜日）の午後1～3時
演習・授業→ 1週間前までに随時予約

3) 文献探索講習会

対象：学部学生 ・所要時間：60分
内容：雑誌・新聞の探し方、レファレンス・サービスについて、
他大学図書館・情報機関案内、オンライン情報検索
開催日時：定例講習会→ 4/26, 5/24, 6/14（水曜日）の午後1～2時
演習・授業→ 1週間前までに随時予約

4) 日経テレコン講習会及びDIALOG講習会

対象：学部学生、大学院生、教職員など ・所要時間：45分～60分
内容：概要説明とデモンストレーション
開催日時：1週間前までに随時予約（演習・授業単位または少人数グループ単位）

※申込みは、図書館1階の参考カウンターにて受付けます。

[編集を終えて]

・4月1日発行に間に合わせようと懸命の努力をしました。図書館を利用しようと考えている人に少しでもお役に立てば大変に幸せです。（K. S）

・当図書館が、現在、業務及びサービスの機械化の途次にある関係上、いわゆる「利用案内」を正式に作る事が難しく、そのため、この図書館報No.2も前号に続いてまた利用案内っぽいものになってしまいました。（尚、「利用案内」は近いうちに出来る予定です）次号からは新しい企画も考え、また発行回数も増やして、図書館と利用者をつなぐための役割を果たして行きたいと思っております。何卒、よろしく。（T. Y）

南山大学図書館報 No.2

1989.4.1 発行

南山大学図書館

名古屋市昭和区山里町18

TEL. 052(832)3707